

プレスリリース

2024 年度第 3 四半期 iCONM/CHANGE ニュースレター発行 市民公開講座「川崎の南端は世界の最先端ナノです」 かわさきケアデザインコンソーシアム公開セミナー のお知らせ

報道関係者 各位

平素は大変お世話になっております。

公益財団法人川崎市産業振興財団 ナノ医療イノベーションセンター（センター長：片岡一則、所在地：川崎市川崎区殿町、略称：iCONM）は、同センターの活動およびニュースを綴った iCONM ニュースレターを四半期ごとに発行しています。2024 年度第 3 四半期（10 月～12 月）における弊センターの活動をまとめた「iCONM/CHANGE 2024 年度ニュースレター冬号」を本日付で発行しましたので、添付させていただきます。ご興味ある内容がございましたら是非お問い合わせください。

本ニュースレターは、以下の構成となっております。

- 挨拶/ 片岡一則センター長
- ハイライトニュース 14 件
 - 広島市立基町高校 2 年生が来所
 - 第 20 回 Cross Cultural Event を開催
 - 島根県立益田高校 2 年生が iCONM で体験学習
 - プロジェクト CHANGE リトリート合宿を開催
 - かわさきケアデザインコンソーシアム キックオフシンポジウムを開催
 - 片岡一則センター長 川崎市社会功労賞を受賞
 - 片岡一則センター長 8 年連続、通算 9 度目の「高被引用論文著者」に選出
 - 第 21 回 Cross Cultural Event を開催
 - 論文イメージ図が J. Am. Chem. Soc. の表紙に採用
 - 川崎市立川崎高校福祉科 3 年生を対象としたワークショップを開催
 - 川崎市立川崎総合科学高校科学科 2 年生を対象とした出前授業を開催
 - プロジェクト CHANGE 川崎市看護協会主催のワークショップを支援

- プロジェクト CHANGE 第 3 回シンポジウム「共に創ろう！健康長寿社会」を開催
- 第 22 回 Cross Cultural Event を開催
- 発表論文/ 2024 年 10 月～12 月に公開された論文 15 報のリスト
- コラム/ 2024 年 10 月～12 月に公開されたコラム 3 報のリスト
- 実施済みイベント/ 2024 年 10 月～12 月に実施したイベント
- イベント予告/ 2025 年 1 月～3 月に実施予定のイベント
- 編集後記/ iCONM イノベーション推進チーム

尚、四半期ごとに発行するニュースレターのバックナンバーは以下のサイトから閲覧可能です。

https://iconm.kawasaki-net.ne.jp/activities_news_letter.html

また、2/8 に市民公開講座「川崎の南端は世界の最先端ナノです」、2/26 に、かわさきケアデザインコンソーシアム公開セミナー「看護現場のリアルからつかむ工学連携のヒント」を開催します。前者では、川崎市職員による殿町キングスカイフロントの現状説明や、弊センター職員による iCONM の 10 年間の変遷および組織の強み、プロジェクト CHANGE が発足した背景とビジョンについて解説します。後者では、11/1 に設立した同コンソーシアムの事務局長 白崎 功から組織の具体的な役割や目的についての説明、川崎市産業振興財団で産業支援を担う高梨憲爾から同財団のサービスメニューの紹介を行います。さらには聖マリアンナ医科大学病院の本館教子先生（副院長 兼 看護部長）をお招きし、看護現場の実態や看護 DX の現状についてお話し頂きます。詳細は、今回配信しましたニュースレターの「イベント予告」をご覧ください。

市民公開講座「川崎の南端は世界の最先端ナノです」

日時：2025 年 2 月 8 日（土） 午後 2 時～4 時

挨拶：片岡一則（iCONM センター長）

演者：嶋村敏孝（川崎市キングスカイフロントマネジメントセンター・センター長）、岩崎廣和（iCONM アドバイザー）、永井浩二（iCONM 副センター長）、島崎 眞（iCONM コミュニケーションマネジャー）

参加登録サイト：

https://us06web.zoom.us/webinar/register/WN_Lzt6vtziS2ypcuThS_MeSQ#/registration

公開セミナー「看護現場のリアルからつかむ工学連携のヒント」

日時：2025 年 2 月 26 日（水） 午後 3 時～5 時

招待講演：本館教子先生（聖マリアンナ医科大学病院副院長 兼 看護部長）

演者：白崎 功（かわさきケアデザインコンソーシアム・事務局長）、高梨憲爾（川崎市産業振興財団・産業支援部長）

参加登録サイト：

<https://change.kawasaki-net.ne.jp/consortium/information/20250226seminer/>

公益財団法人川崎市産業振興財団について

川崎市の 100%出捐により昭和 63 年に設立され、川崎市内及び周辺地域の産業経済の発展に寄与すること、また、先端的な医療分野、薬学分野等における研究開発の推進等により 医療・福祉の向上などを目的としています。行政や関係機関、各拠点と連携し、川崎市産業振興会館を市内中小企業・ベンチャーの支援拠点として位置づけ、経営支援強化をはじめ、新産業・新技術の創出支援など、産業振興に関わる諸事業に積極的に取り組むと同時に、中小企業・ベンチャー等の抱える課題の解決に向けて、「総合的な支援サービスの提供」に注力しています。

<https://www.kawasaki-net.ne.jp/>

ナノ医療イノベーションセンターについて

ナノ医療イノベーションセンター (iCONM) は、キングスカイフロントにおけるライフサイエンス分野の拠点形成の核となる先導的な施設として、川崎市の依頼により、公益財団法人川崎市産業振興財団が、事業者兼提案者として国の施策を活用し、平成 27 年 4 月より運営を開始しました。有機合成・微細加工から前臨床試験までの研究開発を一気通貫で行うことが可能な最先端の設備と実験機器を備え、産学官・医工連携によるオープンイノベーションを推進することを目的に設計された、世界でも類を見ない非常にユニークな研究施設です。

<https://iconm.kawasaki-net.ne.jp/>

プロジェクト CHANGE について

文部科学省/JSTによる「令和4年度共創の場形成支援プログラム COI-NEXT」(共創分野・本格型)に川崎市産業振興財団(理事長:鈴木 毅、所在地:川崎市幸区、略称:KIIP)が代表機関となり申請し、2022年10月25日に採択されたCOI-NEXT川崎拠点のことをプロジェクトCHANGEと呼びます。「医工看共創が先導するレジリエント健康長寿社会」をビジョンに掲げ、少子高齢社会にあつて負担が増える医療職種の中でも、これまで工学がほとんど介入してこなかった看護領域に特に着目してケア業務の負担軽減を工学の力で行うとともに、老化に抗う身体を造る術について研究開発を行い社会実装します。さらには、市民のケアコンピテンシー(ケアする力)を高め、誰もが簡便に扱えるケア製品やシステムを開発します。

<https://change.kawasaki-net.ne.jp/>

2025年1月21日